

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公開番号】特開 2013-218126 (P2013-218126A)

【公開日】平成 25 年 10 月 24 日 (2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2013-058

【出願番号】特願 2012-88871 (P2012-88871)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 8 日 (2015.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画素がマトリクス状に形成された表示領域を有する T F T 基板と、
異方導電フィルムによって前記 T F T 基板に接続された I C ドライバと、を有する表示
装置であって、

前記 T F T 基板には、前記 I C ドライバと接続された複数の I C 用端子が第 1 のピッチ
にて形成され、

前記複数の I C 用端子の最外部に位置する I C 用端子の外側には、前記第 1 のピッチよ
りも大きい第 2 のピッチでダミー端子が形成されており、

前記ダミー端子は、前記 I C ドライバと重畳していないことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記ダミー端子は、前記異方性導電フィルムとも重畳していないことを特徴とする請求
項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記 T F T 基板には、第 1 の金属と、前記第 1 の金属上に設けられたキャップメタルと
、前記キャップメタル上に設けられた絶縁膜と、前記絶縁膜上に設けられた金属酸化物膜
とを有しており、

前記複数の I C 用端子は、前記絶縁膜に設けられたスルーホールを介して、前記キャッ
プメタルと前記金属酸化物膜とが接続しており、

前記ダミー端子は、前記絶縁膜に設けられたスルーホールを介して、前記 T F T 基板と
前記金属酸化物とが接触していることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記 T F T 基板には、第 1 の金属と、前記第 1 の金属上に設けられたキャップメタルと
、前記キャップメタル上に設けられた絶縁膜と、前記絶縁膜上に設けられた金属酸化物膜
とを有しており、

前記複数の I C 用端子は、前記絶縁膜に設けられたスルーホールを介して、前記キャッ

プメタルと前記金属酸化物膜とが接続しており、

前記ダミー端子は、前記絶縁膜に設けられたスルーホールを介して、前記キャップメタルと前記金属酸化物とが接続しており、

前記複数のＩＣ用端子のキャップメタルに対して、前記ダミー端子のキャップメタルの方が薄膜化されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の表示装置。